

無線線量測定器と線量表示システムの開発

【株式会社扶桑プレジジョン】

1. 事業者の概要

社名：株式会社扶桑プレジジョン

所在地：〒600-8106 京都市下京区五条通烏丸西入醍醐町 284 番地

代表者：代表取締役 竹田 直人

設立：平成7年9月1日

資本金：15,000 千円

従業員数：7 人

業種：その他製造業

主要取扱商品：印刷会社向けソフトウェア、分光測色計

電話・FAX：075-353-0678・075-353-0679

URL：http://www.fuso.co.jp/

E-mail：h.yamamoto@fuso.co.jp

2. 事業の概要

〔事業区分〕

設備投資＋試作開発

〔事業類型〕

光学機器

〔テーマ〕

無線線量測定器と線量表示システムの開発

〔目的〕

「放射線量の測定データが定期的に自動送信され、さらにその測定データを広く活用するため、携帯電話やスマートフォンから手軽に閲覧できれば」というニーズに応える。

3. 事業の内容

〔事業取組みの経緯〕

きっかけとなったのは東日本大震災の後、義捐金を送るのではなく自分たちにできることを考えていた時、一般の人が海外製の価格の高い放射能計測器を購入していること、計測器そのものが日本で普及していないことを知り、独自の放射線計測機を開発し、寄付したことである。



事業所外観

[実施内容]

最初に作成したものは形も大きく、単価も高かったため、もっと小さく電池を長持ちさせること、単価を抑えたもので製品化すること、そして大手流通チェーン店に置いてもらえるものを目指して開発を進めた。その結果、小さく省電力化したデバイスとソフトウェアの開発を実現。

4. 事業成果

[競争力強化の形態]

サービス化

[基盤技術の活用等]

組み込みソフトウェア

[事業取組み成果]

省電力化を実現した設計、単価も抑えることができ、量産可能となった。ロビー活動を行う中で、放射能測定の情報サービスは民間事業としてやることに意義があることを知り、全国チェーン店舗に置くサービスを模索するが通信インフラや電気代の課題があり実現はできなかった。

[他社との差別化の実効度合]

単体で販売することは難しい商材なので、現在、全国チェーン店舗に販売を進めている他の機能の高価格商品（写真印刷機）に付随させて販売することになっている。それにより、日常の中の定点観測が可能になり住民サービスにもつながるものができると考えている。

[今後の主な活動予定]

測りつづけて統計立ててみることに意義があるもので、学問として使ってもらえるものにしたい。今は実績をつけていくために、自治体などに無料で貸出して使っていただいている。将来的には民間のお天気サービスの様な情報提供サービスも考えている。デバイスもさらに進化させて省電力化を進め、事業を通して地球環境への貢献をしていきたい。

販売（売上）計画

経過年数 3 年目（28 年度）： 1000 台（約 1 万円／1 台）

経過年数 4 年目（29 年度）： 2000 台（約 2000 万円）

経過年数 5 年目（30 年度）： 10000 台（約 1 億円）



線量測定器外観



スマホにデータを送り表示可能